

第11回 グループホームふるさと桜 運営推進会議 会議録

開催日時	平成28年8月26日(金) 14:00～15:00	
開催場所	グループホームふるさと桜 1階多目的室	
出席者	瀧原様(入居者) 片岡様(家族代表) 畑様(家族代表) 石坂様(知見を有するもの) 藤井様(地域包括支援センター) 大貫(施設長) 大田(管理者)	
議題	1	運営状況
	2	入居者様の日頃の生活状況
	3	地域との交流について
	4	第三者評価を受けて
	5	会議参加者との意見交換
	6	その他
議事	<p>1、管理者より、現在の入居者状況、事故・ヒヤリハットの内容を報告(別紙参照) 入居状況は満床の状況。7月の事故で服薬関係の内容が再度増えてきていた。職員の確認不足によるものもあったため、再度注意喚起をしている。 片岡様より:薬の確認は一人でしているのか? →管理者より:薬を提供する際は、提供者がチェックをし、間違いがなかったのかを他の職員が再度チェックをするようにしている。 →片岡様より:様々な対応を同時にしている中で薬の取り扱いなので、間違ふこともあると思う。職員が動きやすい環境や道具を整えてあげてほしい。</p> <p>2、管理者より、写真を用いて日頃の生活状況を説明。 7月より、毎月3組のボランティアに参加をしてもらっており、生活に活気が出てきていると思われる。また、塩屋キッズの音楽隊の来園も引き続きして頂く。</p> <p>3、管理者より、地域との関わりに関して、現状を説明。 地域開催の祭りなどの行事への参加や近隣のパン屋などへの買い物を入居者と共に行い、関わりを持つようにしている。パン屋の店主は、職員・入居者の顔を覚えてくれており、店の前を通ると声をかけてくれている。</p> <p>4、管理者より第三者評価の調査結果を説明。(家族アンケート集計参照) 家族アンケートに関しては、回答率も高く、昨年に比べ評価を受けている回答であった。現在、行政へ提出をする用紙を作成中であり、情報公開された後、皆様へも報告をさせて頂く。</p> <p>5、歓談をしながら意見交換 畑様より:自分の父親もグループホームを退去したのち特養へ入居したが、先日他界をした。支援の内容を見るとグループホームと特養では質がかなり違うと感じた。 片岡様より:先日、知り合いの入居している施設へ面会に行ったが、個々のグループホームがすごく寄り添って支援を敷いてくれているのだと実感した。施設によっては、全く外出もできないところもある。 最近、母親が日にちがわからないことが増えてきている。フロアのホワイトボードに書いてくれているが、大きなカレンダーを掲示し、行事の予定などを書いてもらってもいいのではないかと? →管理者より:入居者の数に対して職員の人数が他の種別と比べると多い為、一人一人に寄り添うことが出来ている。カレンダーに予定を書くと、楽しみになり興奮されてしまう方もおられる。他の方の状況もふまえて検討していきたい。 畑様より:全国や県などでグループホームの集まりはあるのか?もしあるのであれば、情報交換などもしているのか? →施設長より:それぞれ協会があり、垂水区規模でも連絡会がある。 →石坂様より:年に4回集まりがあり、情報交換をしている。 畑様より:1階の職員が1名異動になっているが、規定の人数は足りているのか? →管理者より:足りています。規定の人数だけでは支援が行きわたらないことがあるので、プラスの人員を置いている。 畑様より:今年の夏まつりは例年より日にちが早かったが、メリットはあったのか? →管理者より:地域行事との兼ね合いもあり、日程調整したが、地域に方の参加は昨年に比べると多かった。 →施設長より:日頃、運営する中で、車に関して地域の方には迷惑をかけてしまっている。出来るだけ参加をしていただき、地域への還元が出来るようにしていきたい。</p>	